

平成30年度第一回1F事故進展基盤研究に 関する分科会の概要報告

分科会事務局

廃炉基盤研究プラットフォーム
第10回運営会議資料

議題

- 委員自己紹介(委員名簿(別添資料))
- 主査選出(山路准教授(早大))
- 分科会の目的に関する論点整理
 - ✓ 炉内状況把握、事故進展解析に係る重要課題の抽出
 - ✓ 炉内状況推定図の高度化と成果の反映の方法
 - ✓ それらを適切に進める方法論としてのPIRTの高度化
- 議論の1F基礎基盤研究マップへの反映
- (参考情報)SAアーカイブ事業の概要紹介

主な議論（速報版）

- 炉内状況把握、事故進展解析に係る重要研究課題の適切な抽出に向けて、1Fの燃料デブリ分布とソースタームを対象とした課題重要度のランク付け（PIRT）先行研究を活用する。
- 最新の知見を取入れると共に、燃料デブリやFPの分布だけではなく、廃炉工程に係る観点（例：構造物の機械・構造特性、燃料デブリの材料特性、など）を取入れ、既往PIRTを高度化する（当面、2年間で実施）。
- 現時点で想定される重要課題については、各分野の中堅研究者からなるタスクフォースを設け、年内目途で課題抽出と分科会でのレビューを行う。
- JAEA/CLADSは、その議論を技術マップ整備の参考とする。